

スミフェロン注DSを使用されている方へ

スミフェロン[®]注
DS 300万IU・600万IU

使い方ガイド





使用前の注意

スミフェロン注DSは、医療機関において、在宅自己注射の指導を受けた患者さんまたは家族の方が自己注射を実施できる、インターフェロンアルファ製剤です。ご使用にあたってはこの冊子をよく読み、安全で確実な自己注射を行ってください。なお、注射の方法と投与回数は必ず主治医の指示に従ってください。また、開封後はすみやかにご使用ください。



取り扱い上の注意

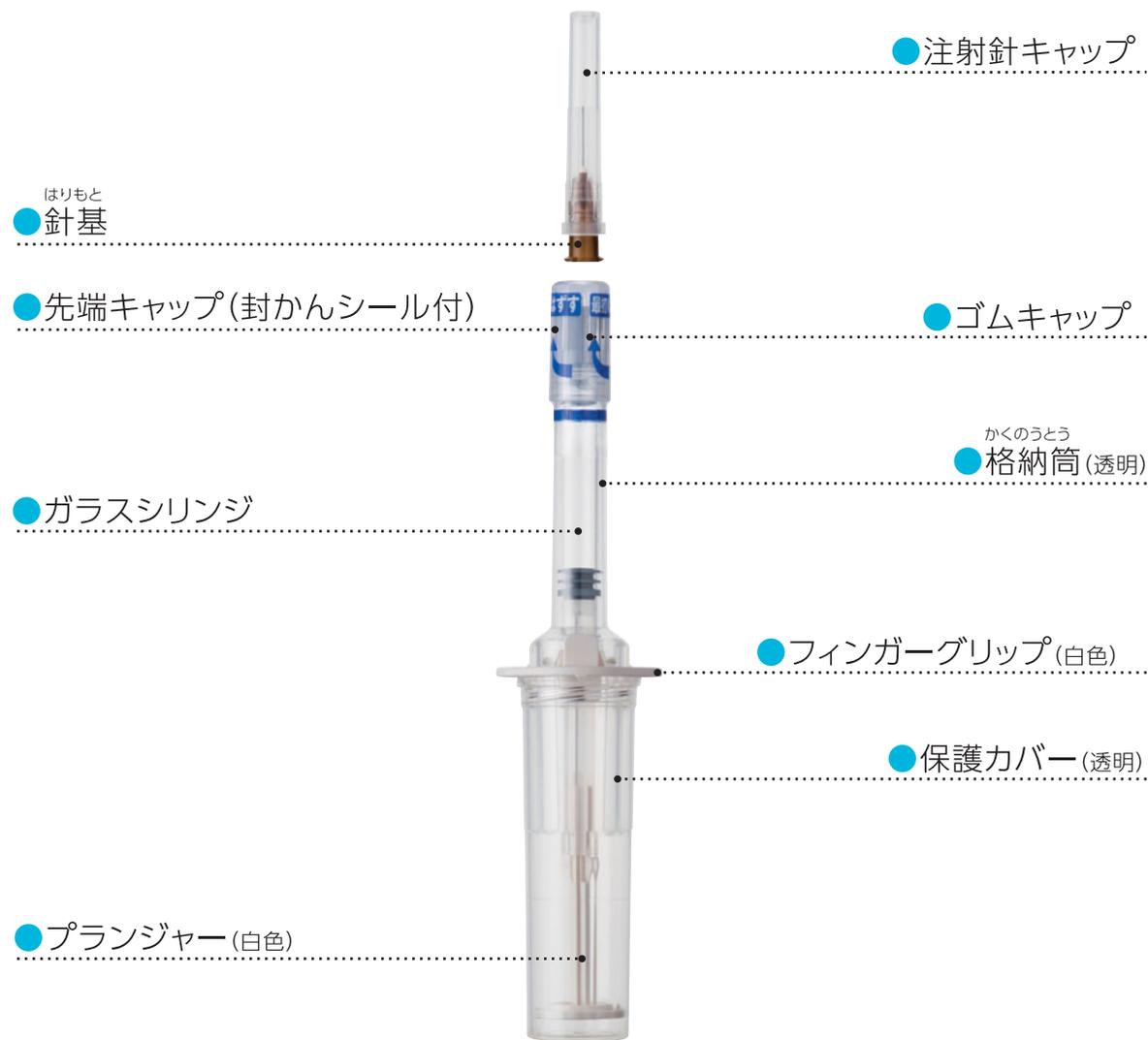
本品は精密な機構を備えており、落下、衝撃等により一部が破損し使用できなくなる場合がありますので、取り扱い、保管には注意してください。



保存の注意

- 光や凍結を避け、冷蔵庫内など10℃以下で保管してください。
- 冷蔵庫内の保管場所によっては凍結することもありますので、冷風吹き出し口付近など比較的低温となる場所には置かないでください。
- 食物などと区別して、清潔に保管してください。

注射器の各部の名称





※スミフェロン注DSは冷えたまま注射をすると、痛みが増すことがあります。
注射する20～30分前には冷蔵庫から出しておいてください。



・消毒用アルコール綿



・廃棄ボックス(セーフティボックス)

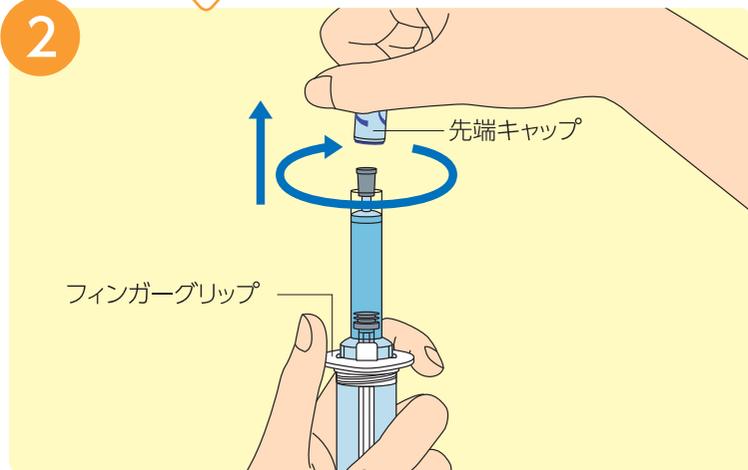


注射器を操作する前に手指をせっけん等でよく洗い、清潔なタオル等で水気をふき取ってください。



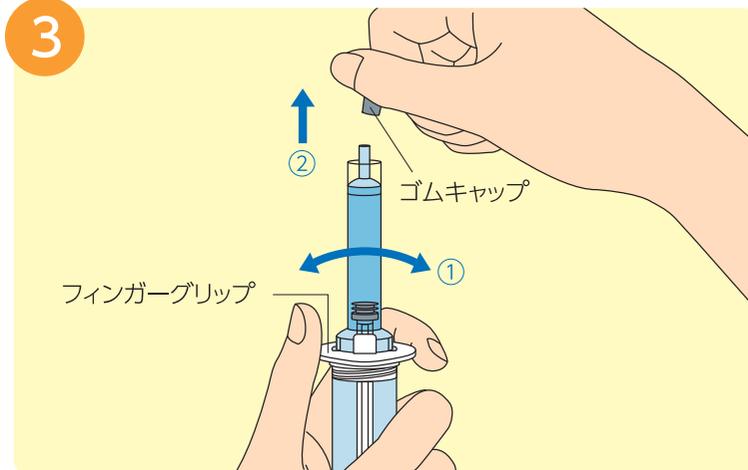
1 注射針を袋から取り出しておきます。

2



フィンガーグリップ(白色の部分)をしっかり握って固定し、先端キャップを矢印の方向(時計回り)に回して引き抜きます。

3



フィンガーグリップ(白色の部分)をしっかり握って固定し、ゴムキャップをゆっくり前後左右にずらすようにして外します。

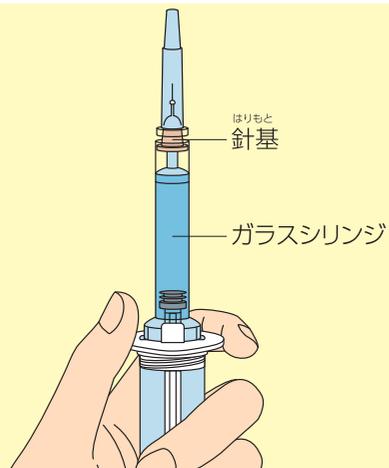


注意

- ゴムキャップは衛生管理上固めにとりつけてあります。無理な力をかけるとシリンジの先端ごと折れてしまうことがあります。
- ゴムキャップを取り外す際に保護カバー(透明な部分)を握ると、カバーが外れることがあります。
- ゴムキャップを外す時や外した後は、**ガラスシリンジの先端を指などでさわらない**ようにしてください。



4



添付されている注射針をしっかり取り付けます。
操作の途中で針が外れないように、^{はりもと}針基をガラスシリンジの先端部分にしっかりと固定させてください。

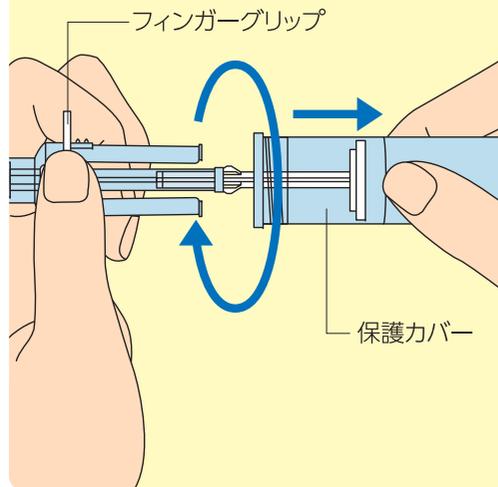


注意

- 操作中の液漏れを防止するため、注射針をしっかり取り付けてください。
- 保護カバーを付けた状態で、注射針を取り付けてください。
- 取り付け時は、注射針をガラスシリンジの先に対してまっすぐになるように取り付けてください。
- 添付されている注射針以外の注射針を装着した場合、使用後に注射針が完全に格納されないことがあります。
必ず添付の注射針を使用してください。

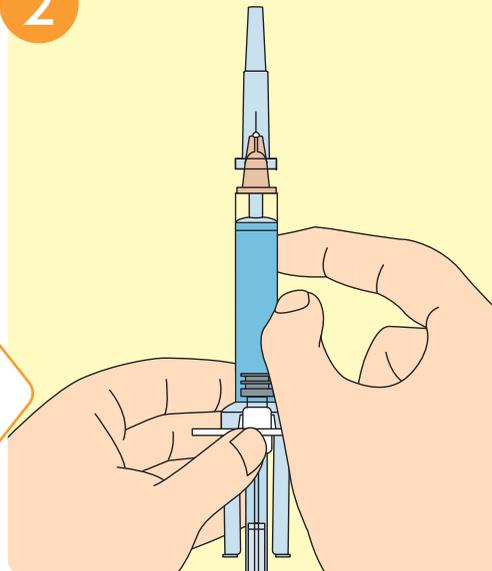


1



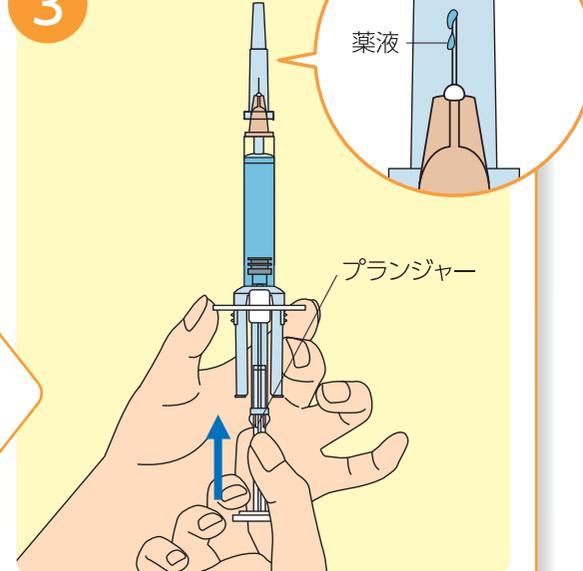
フィンガーグリップ(白色の部分)をしっかり持って、保護カバー(透明の部分)を時計回りに回しながら取り外します。

2



注射器の先を上に向け、横から軽く指ではじき、空気を上に集めます。

3



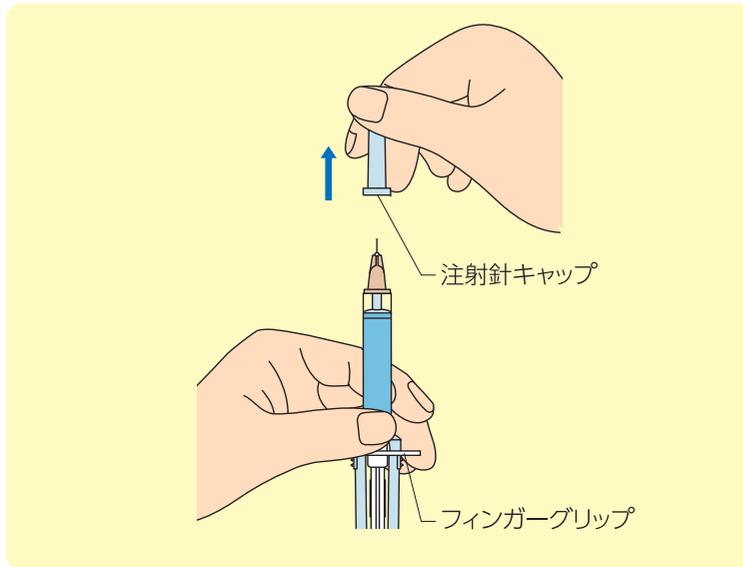
プランジャー(白色)をゆっくり押し、注射器内の空気を抜いてください。この時、針先から薬液が出ることを確認してください。



● 気泡が外に出にくい場合は、**2**～**3**の操作を繰り返してください。多少の気泡が残っていても問題ありません。



● 投与前にプランジャー中央部の部品を変形させると、投与操作ができなくなる場合があります。触れないようにしてください。● 保護カバーを外した後に、注射針を取り付けるとフィンガーグリップが外れるおそれがあります。その状態で使用した場合、投与直後に投与部位から注射針を抜く前に注射針が格納され、痛みを感じる場合があります。● 空気抜きを行う際はプランジャーを引かないでください。薬液が漏れることがあります。



フィンガーグリップ(白色の部分)をしっかり持って、
注射針キャップをひねらずまっすぐ引き抜きます。

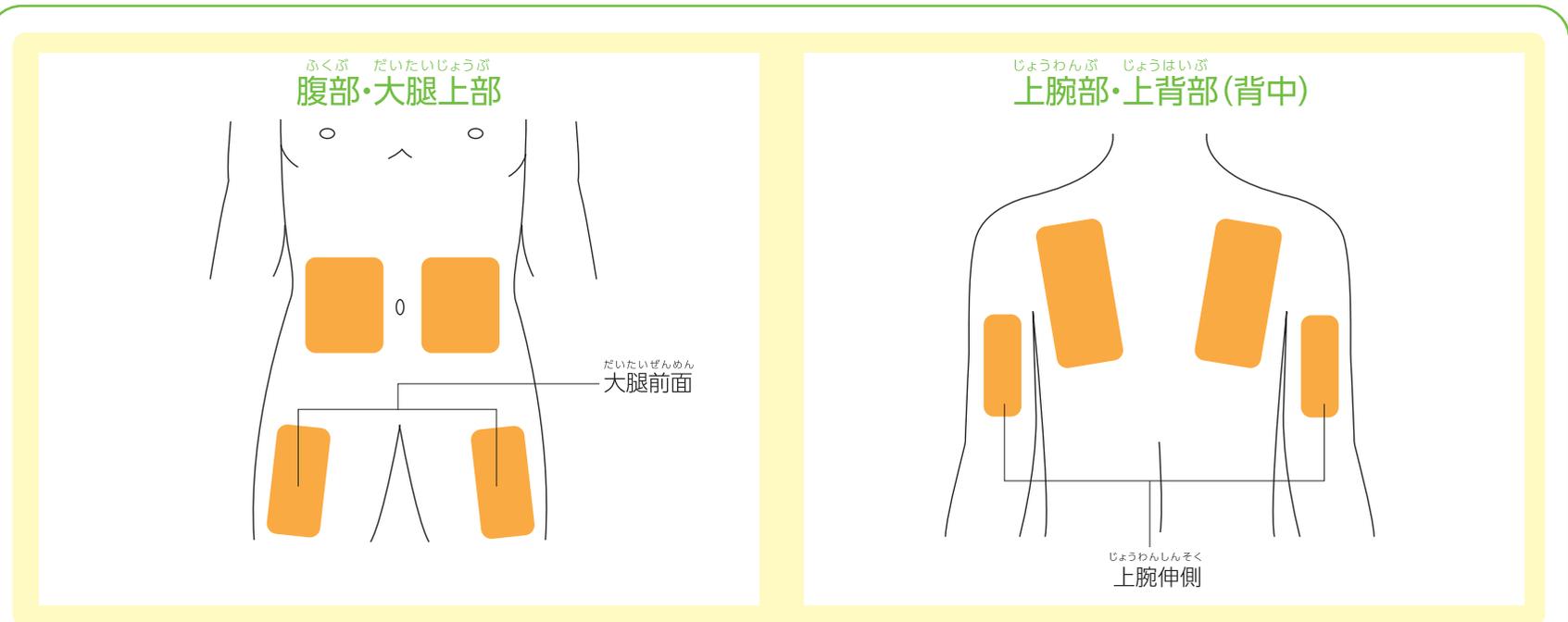
はりもと
針基ごと外れてしまったら
17ページの **困ったときは** を
参照してください。

注射する前に針が格納筒に入り込んでしまったら
18ページの **困ったときは** を
参照してください。



注意

- 注射針キャップをひねると注射針の外れ・液漏れや注射針キャップが固くなり取り外しにくくなる場合があります。
- シリンジ先端に負荷がかかるとシリンジ先端が折れることがあります。
- 注射前に注射針を注射針キャップなどのなにかに接触させると、針の先端がつぶれ、注射時に痛みを感じる場合があります。注射針キャップを外す際は針先がキャップ内面に当たらないように**まっすぐ引き抜いてください**。また、注射前に針先を消毒綿等で拭かないでください。
- 針キャップを外す際、反動で手などを刺さないよう、気をつけてください**。
- プランジャーに触れないように注意してください。
- 注射針が外れた場合には、保護カバー(透明の部分)をもとの位置に取り付けた後に再度6ページの**4**から操作を行ってください。
- 注射針キャップを取り外すとき、シリンジを下に押し込まないように注意してください。



〈皮下への注射部位〉

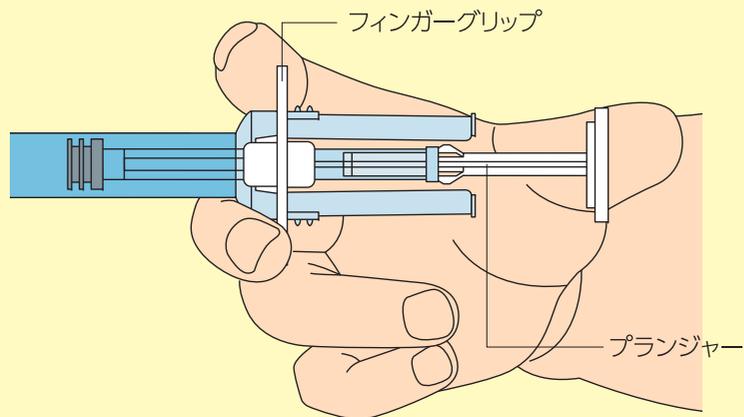
- 神経、血管が少なく、皮膚表面の近いところで骨がない場所になります。
- 一般に腹部や大腿前面がよく用いられます。
- 家族の方が行う場合には、背中や上腕部も用いられます。

■ 注射部位



注意

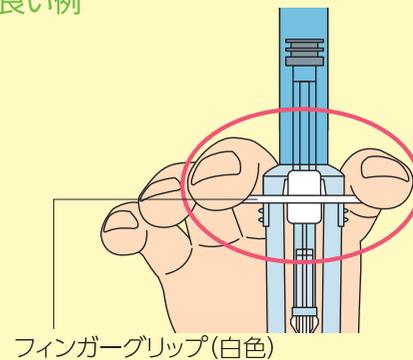
●一か所に集中して注射しないようにしてください。注射する場所は毎回変えましょう。



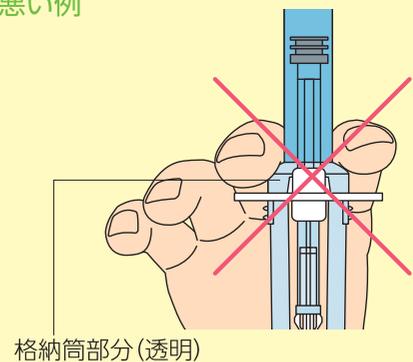
図のように、フィンガーグリップ(白色)とプランジャー(白色)に指をかけて注射します。

注射の方法と投与回数は必ず主治医の指示に従ってください。

良い例



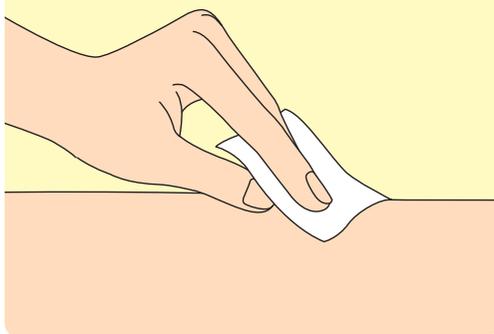
悪い例



●格納筒部分(透明)に指をかけると、スムーズな格納操作ができません。必ず図(良い例)の通りに指をかけて投与してください。

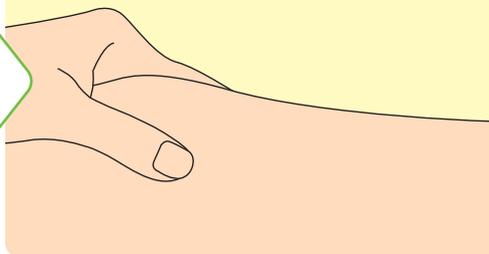


1



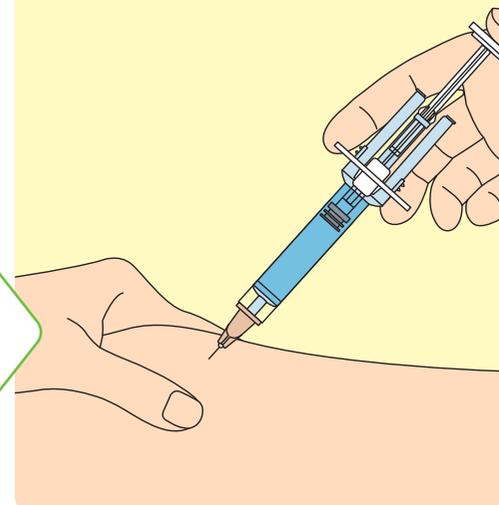
注射する場所を消毒用アルコール綿で広く拭きます。

2



注射部位のまわりの皮膚を親指と人差し指でつまみます。

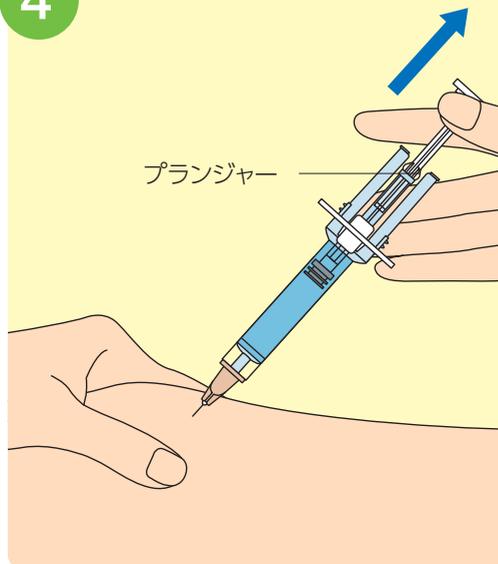
3



注射器を、この部位に皮膚面と約30～45°の角度で素早く針をさします。

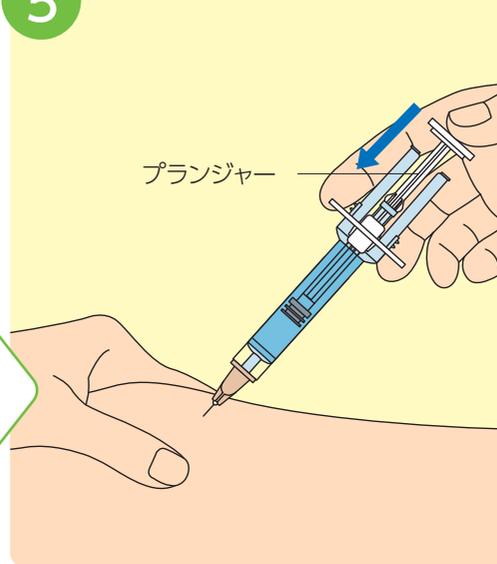


4



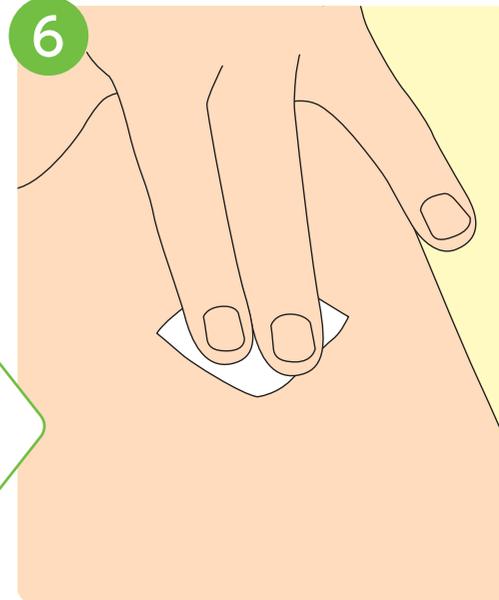
プランジャー（白色）を少し引き、血液が逆流しないことを確認してください。

5



プランジャー（白色）をゆっくり押しながら、注射液を注入します。

6



注射が終わったらゆっくり針を引き抜き、注射した場所を消毒用アルコール綿で軽くおさえます。

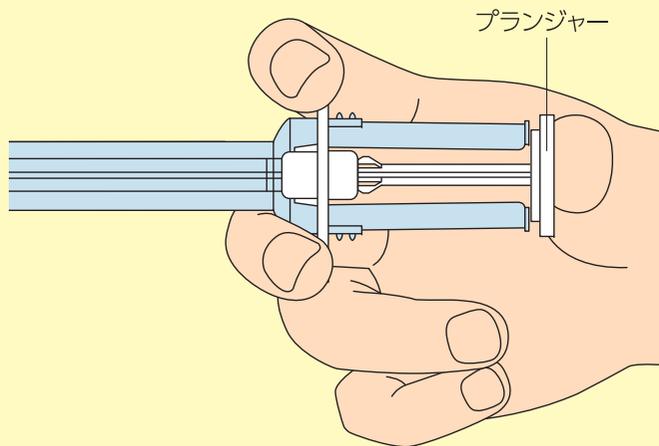


注意

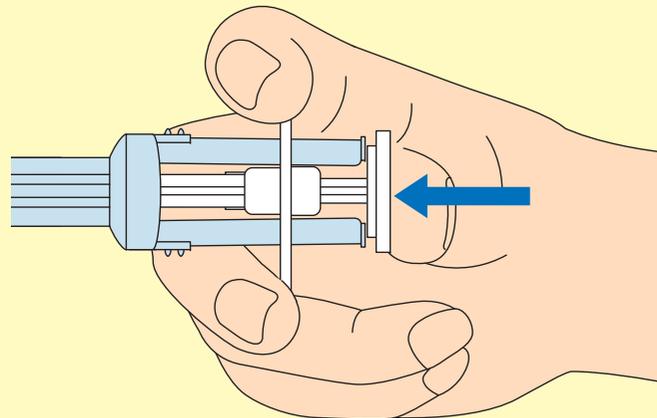
●プランジャーを引いて血液が逆流してくるようであれば、針を刺す位置を変更してください。



1



2



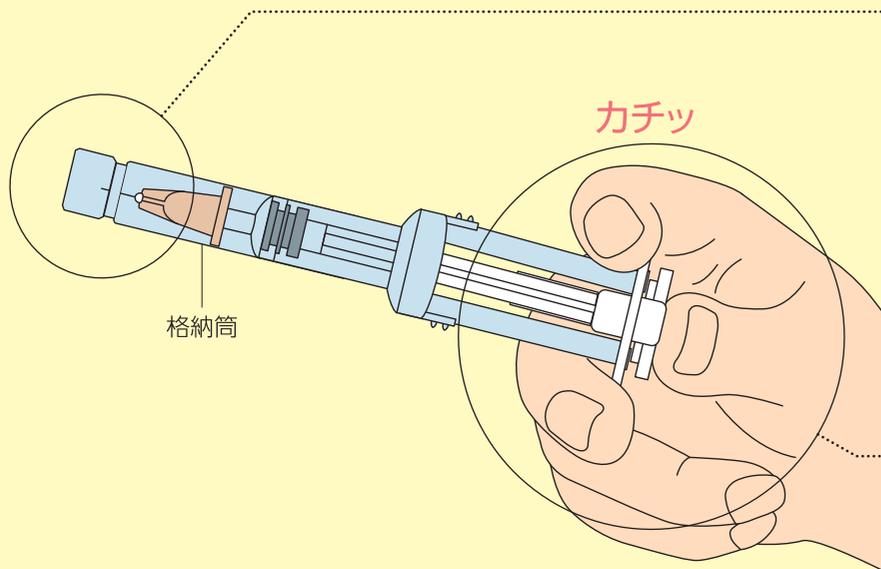
針の格納操作は片手で操作し、中断せず連続して行ってください。投与後に持ち替えたり、机の上に置いたりすると誤作動などの原因になります。**針先を人のいる方向に向けないように注意して**、さらにプランジャー(白色)を強く押し込んでください。フィンガーグリップ(白色)が後退して注射針が格納筒(透明)に引き込まれます。

**注意**

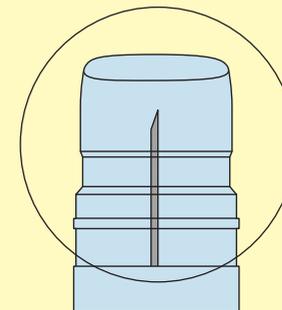
- 投与終了後にプランジャーを引き戻さないでください。
- プランジャーを押し込む時に注射針が外れる場合がありますので、針先を人のいる方向に向けしないでください。
- シリンジ内に空気が入っていると、注射針が外れやすくなりますので、そのような場合には、ゆっくりとシリンジを押し、空気を抜いてからプランジャーを押し込んでください。
- 格納時に針先から残った薬液が漏れることがあります。使用済みの針先から漏れ出た薬液からウイルスや細菌の感染につながるおそれがありますので、注意してください。



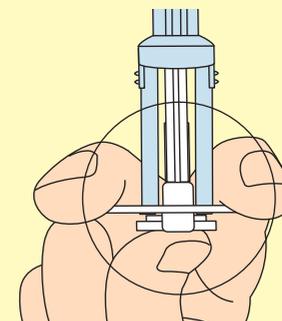
3



シリンジ先端部分拡大図



プランジャー部分拡大図



注射針が格納筒(透明)に完全に引き込まれ、**カチッと音がするまで**プランジャー(白色)を強く押し込んでください。カチッと音がすると注射針が固定されて格納操作は終了します。注射針が格納筒(透明)に完全に引き込まれていることを目視で確認し、その後**注射針の周りに指を触れないように**注意してください。



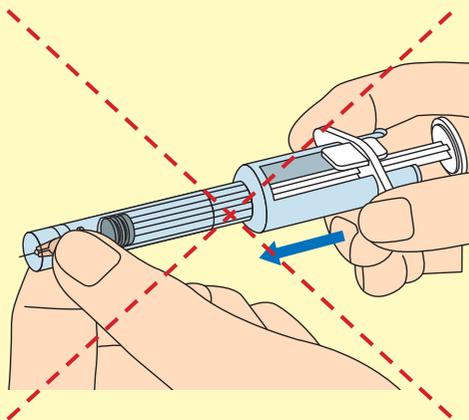
注意

- カチッと音がするまでプランジャーを押し込まない場合、注射針が再度露出する危険があります。
- 針刺し事故防止のため、**投与終了後に注射針キャップは再び装着しないでください。**

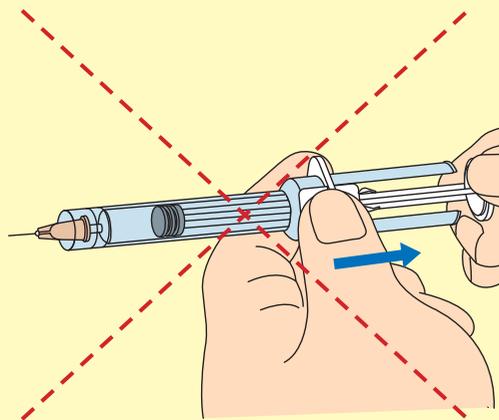


〈してはいけないこと〉

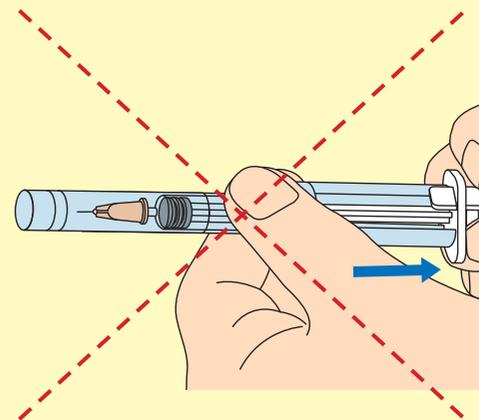
引き込まれたフィンガーグリップを
元の方向へ押し出す



注射終了後、
針の格納途中でプランジャーを引く



シリンジ内に収まった
プランジャーを引き出す

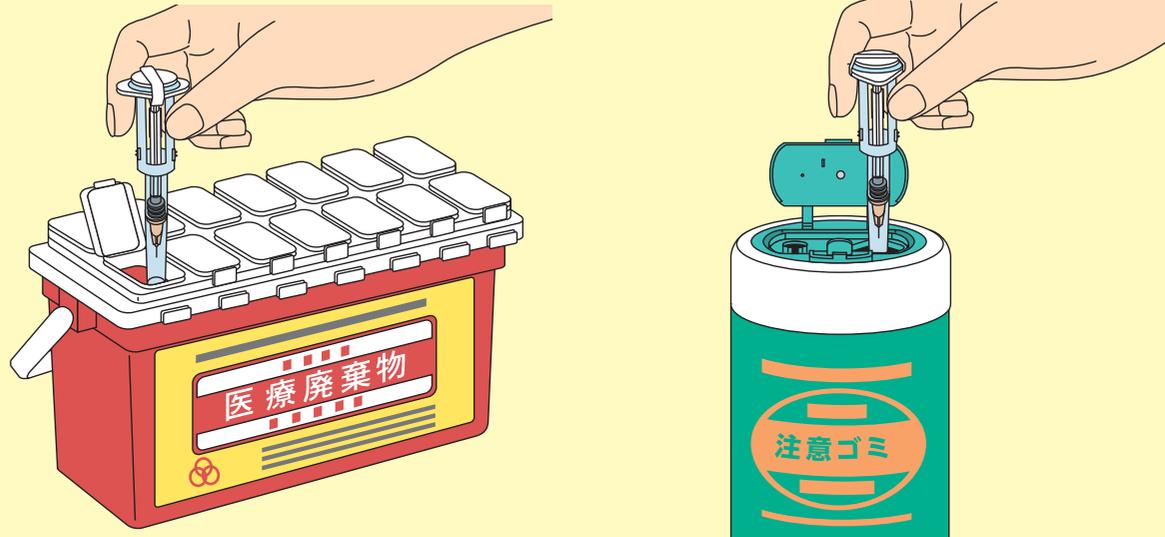


このような操作により、シリンジ内に空気が入り、プランジャーを押す際に注射針が飛び出す恐れがあります。
シリンジ内に空気が入った場合にはプランジャーをゆっくりと押し、空気を抜きながら注射針を格納してください。



注意

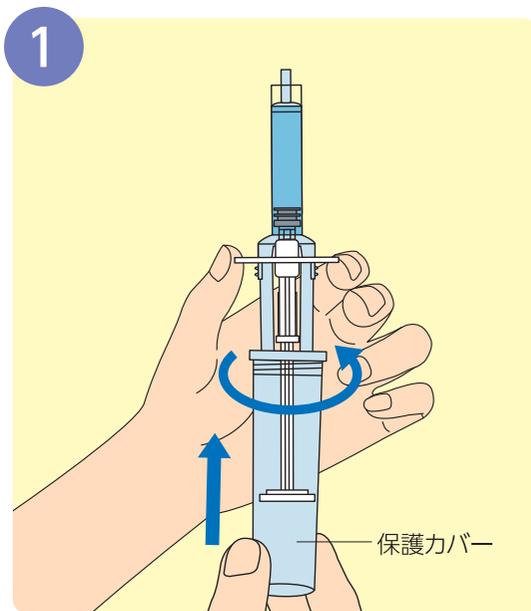
●投与後の注射針や薬液に触れることは感染につながる恐れがあります。注意してください。



注射針格納後のスミフェロン注DSは、**分解・分別は絶対に行なわず、速やかに廃棄**してください。なお、廃棄方法に関しましては主治医の指示に従ってください。



はりもと 〈針基ごと外れてしまったら…〉



3

再度7ページ
からの操作を行ってください。

注射針キャップをひねると針基ごと外れることがあります。そのときは、保護カバー（透明の部分）をもとの位置に取り付けたあと、注射針を取り付け（6ページ 4）、再度7ページからの操作を行ってください。



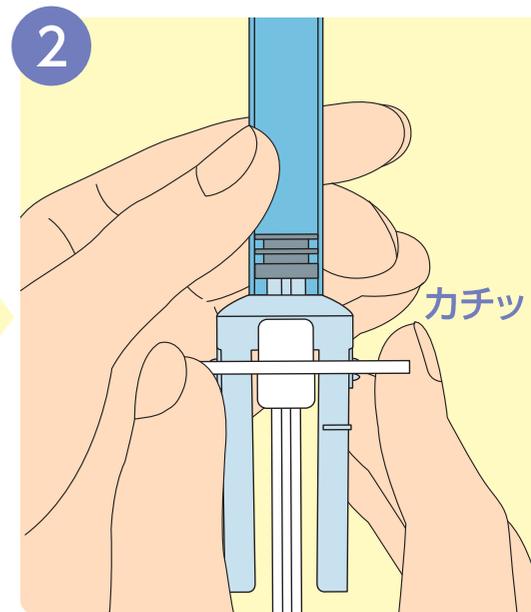
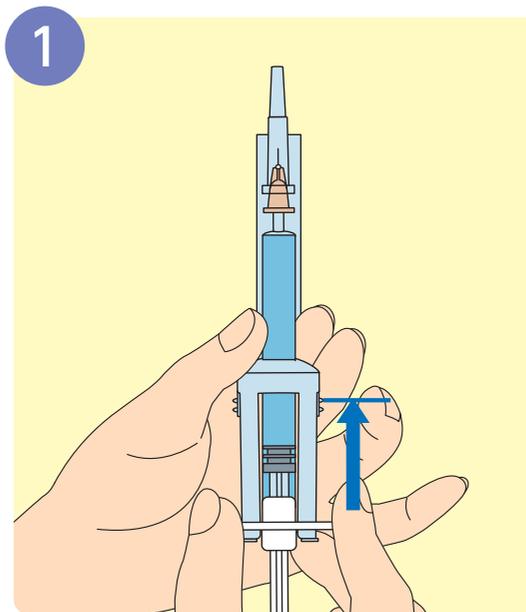
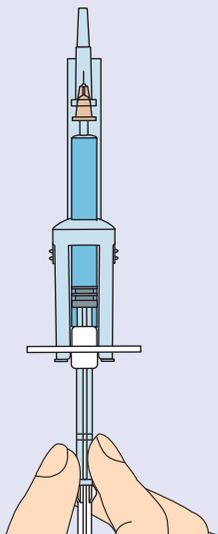
注意

- 保護カバーを取り付ける際は、シリンジの先端部分を上に向け、注射器を傾けないように注意しながら取り付けてください（注射器を傾けると、薬液がこぼれます）。



〈注射する前に針が格納筒に入り込んでしまったら…〉

注射針が格納筒に入り込んだ状態



フィンガーグリップ(白色の部分)をしっかり持たずに注射針キャップを操作すると、注射針が格納筒に入り込んで(左図)しまうことがあります。このような場合には、フィンガーグリップ(白色の部分)を先端方向へスライドさせて、シリンジをもとの位置に戻してください。**カチッ**と音がして、フィンガーグリップが固定されます。

住友ファーマ株式会社

病医院名